①個別データシート	種類	製品	英名	Brown sugar,Indonesia
整理番号: ID305001	分類	インドネシア	和名	粗糖,インドネシア

・GHG排出量

8.51E-01 kg-CO2e/kg

・情報源分類

統計分析データ

・技術記述子

インドネシアにおける粗糖生産

・技術の内容と機能

さとうきびを原材料とした粗糖の生産
(原材料)～粗糖生産
主要原材料:さとうきび、砂糖ヤシの樹液
主要製品:粗糖

・情報源

Statistik Industri Besar Dan Sedang (Large and Medium Industrial Statistics), 2008 Indonesia

・データ作成者コメント

インドネシアの統計(LARGE AND MEDIUM INDUSTRIAL STATISTICS,INDONESIA 2008)から、エネルギーと原材料、生産量の情報を抽出し、原単位を作成した。
統計データ処理上、投入原材料の重量換算で上位95%をピックアップしているため、100%に割り戻した。また、統計の生産品目には粗糖以外の製品が含まれているため、製品生産額の比で投入エネルギーと原材料数量を按分して算出した。統計の生産品目に計上されているさとうきびは自己投入となるため、生産量分を投入原材料数量から差し引き投入量とした。燃料投入金額にはその他の燃料の金額が記載されているがその内容が不明のため、軽油やガソリン等に割り戻した。統計のInput Costに計上されている'Other Expenses' のGHG排出量は全体のGHG排出量に対し影響は少ないと判断し、カットオフした。

・適用範囲

インドネシアで生産される粗糖製品。この群には結晶の形ではなく、サトウキビやニラ(サトウヤシ類の花のつぼみを切って採取した液体)を主成分とした砂糖が含まれる。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品のインドネシア国内における輸送を含まない。インドネシアから日本への輸送および日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、さとうきび(さとうきび[Tebu])由来のCO2(化石資源由来)、さとうきび(さとうきび[Tebu])由来のN2O、熱エネルギー,軽油(軽油)由来のCO2(化石資源由来)、その他の食用耕種作物(砂糖ヤシの樹液[Nira kelapa])由来のN2O、である。

②入出力データ

区分	フロー区分		品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
ユーティリティ	中間フロー	入力	潤滑油[Lubricant oil]	燃焼(排出)・潤滑油		1.50E-03	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	系統電力,インドネシア	系統電力,インドネシア	ID120001	2.68E-03	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	ガソリン	燃焼・ガソリン	JP111002	5.14E-03	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	灯油	燃焼・灯油	JP111010	1.75E-04	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	軽油	燃焼・軽油	JP111013	3.20E-02	L	
資源/原材料	中間フロー	入力	砂糖ヤシの樹液[Nira kelapa]	その他の食用耕種作物		2.43E-01	kg	砂糖ヤシの樹液
資源/原材料	中間フロー	入力	さとうきび[Tebu]	さとうきび(甘しゃ)	JP305045	9.03E+00	kg	Sugarcane
廃棄物再利用	中間フロー	出力	バガス	再生利用品（動植物性残渣）	*	8.30E+00	kg	
製品	中間フロー	出力	粗糖,インドネシア	粗糖,インドネシア	ID305001	1.00E+00	kg	